

2021年度 特定非営利活動法人全国こども福祉センター 事業計画

2021年4月1日～2022年3月31日まで

1 事業目的

特定非営利活動法人全国こども福祉センター（以下、本法人）は、適切な援助につながらない子ども・若者に対してアウトリーチを実施し、アウトリーチを通して、仲間づくり、人間関係づくりを目的としたスポーツ活動や、社会活動への参加機会を提供する。

【定款】「次代を担う子ども達や大人も対象にした教育・文化活動や交流事業を組織的に行い、以って地域力の底上げや社会福祉の増進に寄与する」

2 事業の実施に関する事項

本法人は、今年度に設定した事業目的と定款の目的（本法人の定款第5条第1項）のもと、特定非営利活動に係る事業（1）について対面、オンラインの方法で実施する。

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ①街頭パトロール・相談事業
- ②居場所づくり事業
- ③まちづくり事業
- ④シェルター・自立支援事業
- ⑤その他非行防止に関する事業

①～⑤と事業別に分かれているが、各事業内容は独立しておらず、密接に関連している。そのため、今年度も事業ごとに独立している参加者やスタッフは置かない予定である。

①の街頭パトロール・相談事業②居場所づくり事業は、便宜上、その名称を使用する。①は「繁華街や SNS におけるフィールドワークや声かけ、相談に関する事業」、②の「居場所」とは「アウトリーチ活動やスポーツその他の社会貢献活動の準備、参加、運営」を意味する（アウトリーチで出会った人々によって自主運営されているため）。

3 事業に関する評価方法

本法人は、特定課題の解決を第一の目的としていない。何が子ども本人の利益につながっているのか各自で異なるため、他者が短期間に一律で評価を行うことは適さない。

1) 評価の基準と方法

本法人の評価（成果）基準の設定は、記録を通して、子ども・若者の参加人数と活動回数とする。参加人数と活動回数は、子ども・若者本人の参加や行動、選択に関する客観的事実を示すものである。子ども・若者にとって価値ある場所、体験を提供できていなければ、本活動は開催されず、子ども・若者は参加もしないからである。

参加者数は2012年7月から毎回、計測している（※ボランティア側として参加をした際は名簿を記入することになっている）2020年度においては、感染対策を優先し、年齢区分を省略。

2) 事業予定 (事業全体の参加人数)

アプローチの手法		実施回数	参加人数の見込み
1. アウトリーチ活動 (対面によるアプローチ)	繁華街	50	400
	スポーツ	6	60
	イベント	4	40
	その他		
2. オンラインアウトリーチ (zoom)		100	1200
子どもの声を届けるシンポジウム等を含む			100
合計		160	1800

当期収入 (予想) 126.0 千円 事業費予算 127.6 千円 管理費予算 1.0 千円

当期正味財産増減額予想 -2.6 千円

4 組織体制

正会員 (サポーター会員含む) : 20 名

理事 : 6 名 監事 : 1 名 事務局 : 2 名 (経理兼任含む)

ボランティア (グループライン所属メンバーより) : 130 名

5 会議に関する事項

【総会】 通常総会 2021 年 5 月 29 日 19:00~20:30

議案 : 2019 年度事業報告・決算報告と承認 2020 年度事業計画・予算 (案) の承認

会場 : オンライン zoom (発信元 名古屋市 中村区 則武 1-16-8 第一 U コーポ 405)

【理事会】 第一回理事会 2021 年 5 月 23 日 17:00~19:00 オンライン zoom

議案 : 2019 年度事業報告・決算報告と承認 2020 年度事業計画・予算 (案) の承認

会場 : オンライン zoom (発信元 名古屋市 中村区 則武 1-16-8 第一 U コーポ 405)

6 連携事業

- ・ 学校法人同朋学園同朋大学
ボランティアの受け入れ、研究教育活動
- ・ NPO 法人なかよし
利用者や職員との交流活動
- ・ NPO 法人いのちのケアネットワーク
小さな学び場における話題提供
- ・ NPO 法人子どもサポートネットあいち
社会的養護出身者への支援、自然体験活動
- ・ 株式会社キャリアアート
活動場所 (スタジオ) の提供